

令和 6 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中中学校	校 長	中坊 京子	生徒指導主事	安井 秀俊
取組事例名	『学校行事での縦割り活動』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
異学年と活動交流することで、上級生を中心とした生徒主体の活動を図る。	3 年生はリーダーとして自覚を持って活動し、自信をもって行動できる生徒。 2 年生は次期リーダーとして、状況にあった行動がとれる生徒。 1 年生は先輩の姿を見習い、目標をもって活動できる生徒。



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
【運動会での YOSAKOI・新府中音頭の伝授】 ○ YOSAKOI（2・3 年）○ 新府中音頭（1・2 年） - 各クラス（3－1 と 2－1・・・1－1 と 2－1・・・）で上級生が下級生に振り付けや、ポイントを教える。 - 得意な人だけが頑張ることがないように、少人数のグループで教えあう。 - YOSAKOI では、2 年生は 3 年生の後ろで踊るため、本番まで 3 年生の姿を見ながら踊り、1 年生だけで踊る新府中音頭は学年で精度をあげて発表する。	生徒にめあてをもたせるために 取組の前の事前活動のなかで、取組の必要性が高まる活動を仕組む。
【平和学習での討論】 ○ 夏休みの登校日に行う平和学習で、討論をする。 3 学年合わせた縦割り 6 人班を編成する。 - いくつかあるテーマの中から、各グループで興味のあるテーマを一つ選ぶ。 3 年生が中心となって進行する。 - 出た意見を模造紙に記入し、最後にどんな話し合いをしたか全体共有する。	生徒の意欲を高めるために - 生徒の声を大切にし、できる限り上級生を中心とした生徒主体の活動を行う。 - 各学年の活動を見ることで、来年以降への見通しが持てるようにする。
【文化祭（合唱）での縦割り練習】 ○ 3 学年が一緒にリハーサルを行う。 3 学年が順番に曲を歌い、それぞれ感想を伝え、上級生はアドバイスも伝える。 - 振り返りシートを使い、個人でも評価や目標を考え、合唱に生かす。	生徒の頑張りを認め、価値付けるために - 活動の頑張りを評価する。 - 発表を良いものにできるようサポートし、成功体験につなげる。 - 生徒同士が感想や感謝を伝える場を設定する。



3 成果と課題

異学年活動交流を通じ、コミュニケーション能力や周囲に気を配り人と関わる力が高まった。3 年生はリーダーとしての自覚が向上し、自信を深める生徒が多くいた。2 年生、1 年生も上級生と直接関わることで、イメージを膨らませる生徒や、目標に向けて行動できる生徒が多くいた。また、上級生へのメッセージで感謝の思いを伝えていた。課題は、少人数のグループのため、グループによる活動の差がでたり、交わることが苦手な生徒にとっては良い時間にならないこともあったり、より積極的な教員の介入が必要であった。
--